



岡山県吹岡山県合唱コンクールで歌声を披露する合唱団こぶ（提供：朝日新聞社）

そうじゃの 吹奏楽・合唱は すごい！



岡山県吹奏楽コンクールで演奏する総社東中学校吹奏楽部（提供：朝日新聞社）

数々の賞を受賞

岡山県吹奏楽コンクールが8月4日から9日まで、倉敷市民会館で開かれました。

総社東中学校が中学校A部門で総社中学校が小編成の部で、それぞれ金賞と中国大会出場権を獲得。総社西中学校は銀賞を受賞しています。さらに、高校の部では、総社南高校が金賞、総社高校は銀賞に輝いています。8月26日から28日まで、広島市で開かれた中国大会で、中学校A部門で総社東中学校が銀賞、小編成の部で総社中学校が金賞を受賞しました。

岡山県合唱コンクールが8月7日、岡山市の岡山シンフォニーホールで開かれ、一般の部に出場した合唱団こぶが、全日本合唱連盟理事長賞を受賞。出場

団体のなかでトップの評価を受けました。

同コンクールでは、中学校同声の部で総社西中学校が金賞を、総社東中学校が銀賞を、高校部門Aでは総社高校が金賞を獲得。それぞれ中国大会にも駒を進めました。

市内の吹奏楽部や合唱団が、今年の夏に開かれた大会でおさめた好成績の主なものを紹介しました。そして、こうした状況は、今年に限ったことではありません。

「総社の音楽はすごい」や「吹奏楽のまち総社」といった言葉が聞かれることは、音楽文化のレベルの高さが評価されている証でしょう。

音楽をはぐくむ環境がある

音楽の楽しさを伝え、地域貢献や交流も

創部50周年を昨年迎えた総社東中学校吹奏楽部は、全国大会に8度、中国大会には42回出場。この活躍は、市内の中学校吹奏楽部のレベルを引き上げ、卒業生らの活躍がさらにそれを広げました。

「総社の吹奏楽や合唱はすごい」といわれるのは、音楽をはぐくむ環境があるからです。

吹奏楽ではSKYMジュニア・ウインドアンサンブル、合唱では総社ジュニアコーラス（総社少年少女合唱団）など、小学生のときから楽器や音楽に親しみ、発表会を経験。底辺を支える活動が活発です。「小・中学校、高校、大学、一般と、すべての世代で吹奏楽の活動があり、指導者同士が強いつながりをも

っている」。総社東中学校吹奏楽部の顧問の小原敏彦教諭は総社の強みを話します。

総社東中学校を指導した熊澤利紀さん（現池田小学校長）は、「地域や保護者をはじめ、楽器を購入してくれた行政なども含め多くの支えがあった」と振り返ります。そして、総社東中学校吹奏楽部を幾度も全国大会や中国大会に導いた平田靖昭さん（小寺）をはじめ、市内の中学生を熱心に指導する指導者に恵まれました。総社西中学校でコーラス部を指導する大山敬子教諭は、「吹奏楽も合唱も、市民会館で練習できる意味は大きい」と、前向きな気持ちで練習できる環境があると強調します。

音楽は、地域や世代を超えた

交流をはぐくみます。技術を高めるためだけでなく、はぐくんでくれたまちに、音楽で恩返しをと地域貢献活動も活発です。そうじゃ吉備路マラソンをはじめ、夏まつり、イベントのアトラクションなどで市内4中学校の吹奏楽部は、日ごろの練習の成果を披露。訪れた人に演奏を楽しんでもらっています。

総社東中学校吹奏楽部OB吹奏楽団を前身とする総社吹奏楽団は9月3日、姉妹都市の長野県茅野市で、同市の4中学校の吹奏楽部との合同演奏会に参加。同楽団の団員約50人が、中学生とともに「BELIEVE」や「となりのトトロ」を演奏。音楽を通じ、市民レベルでの交流を深めました。



茅野市民館で行われた長野県茅野市の4中学校の吹奏楽部と総社吹奏楽団の合同演奏会